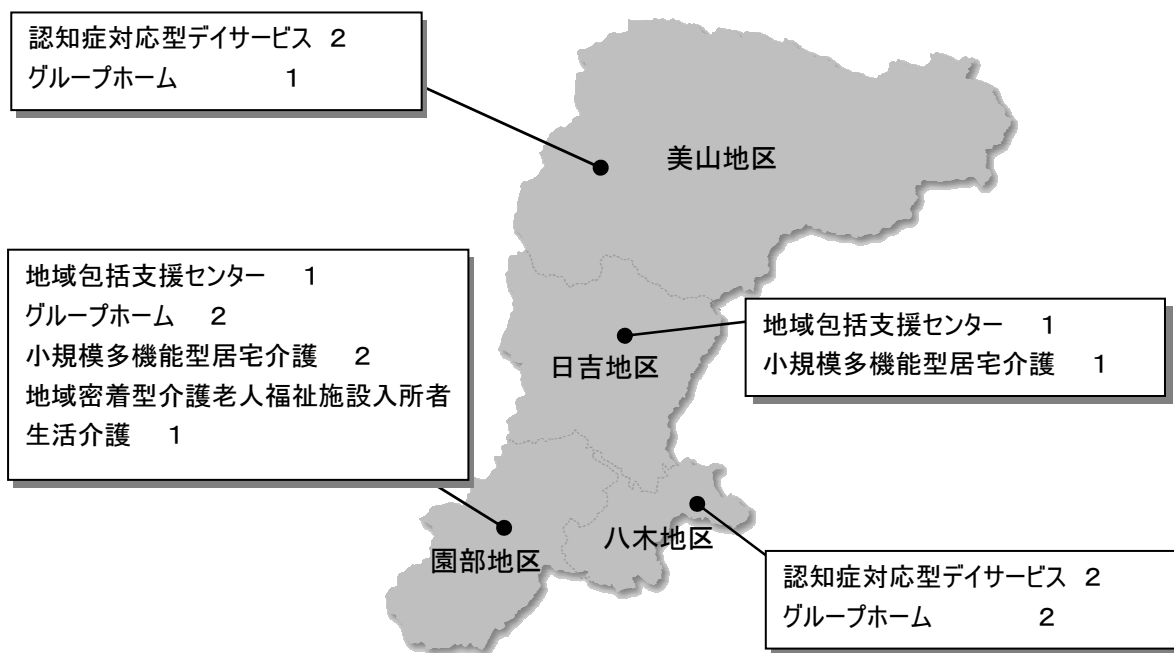


第6章 介護保険事業の推進

1 日常生活圏域の設定

第3期計画以降の南丹市介護保険事業計画においては、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるようにするため、市内を日常生活を支える基盤（公共施設・交通網・人的ネットワーク等）ごとの圏域に分け、その圏域ごとに地域密着型サービスのサービス量を見込んでいます。第5期事業計画における本市の日常生活圏域の設定については、引き続き4圏域とし、各事業者が提供するサービス内容を十分吟味しながら、その圏域に応じたサービス体制の構築をめざします。

【日常生活圏域における地域密着型サービス基盤の整備状況】（平成23年度末現在）



■日常生活圏域の状況

単位：人

区分	人口	第1号被保険者数	認定者数	高齢化率	認定率
園部地区	16,226	3,824	669	24.8%	17.2%
八木地区	8,035	2,565	441	32.4%	17.0%
日吉地区	5,515	1,810	369	32.9%	19.8%
美山地区	4,578	1,777	397	39.4%	22.0%
合計	34,354	9,976	1,876	29.8%	18.5%

※平成23年10月末

※認定者数は第1号・第2号被保険者の合算値

2 居宅介護サービスの推進

(1) 訪問介護・介護予防訪問介護

訪問介護（ホームヘルプサービス）とは、ホームヘルパーが介護を受ける人の自宅を訪問し、身体介護や生活援助等を行うサービスです。また、介護予防訪問介護では、利用者の状態の改善につながるような、介護予防に重点を置いたサービスの提供が行われます。

これまでの実績をみると、訪問介護は計画値よりも下回っており、介護予防訪問介護はほぼ計画値どおりとなっています。

アンケート調査結果からは利用状況よりも利用意向の方が低い傾向にあります。

訪問介護

単位：回／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	70,418	70,756	71,002
実績値	48,776	52,695	52,776
計画進捗状況	69.3%	74.5%	74.3%

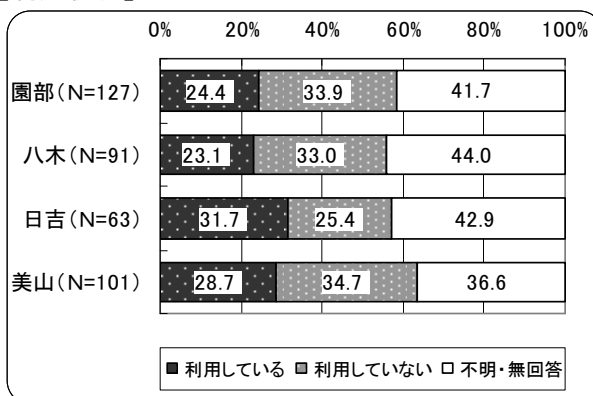
介護予防訪問介護

単位：件／年

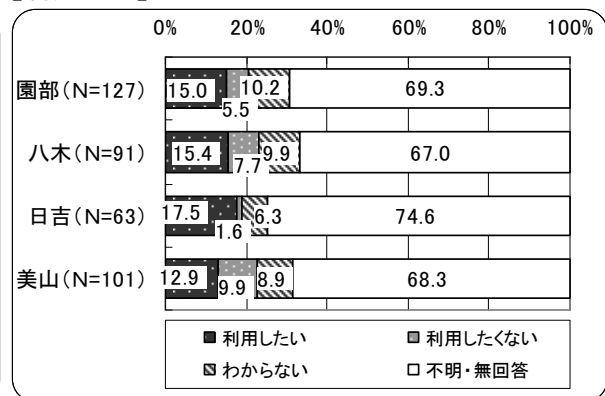
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	1,378	1,386	1,406
実績値	1,343	1,504	1,512
計画進捗状況	97.5%	108.5%	107.5%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には訪問介護・介護予防訪問介護提供事業所が9か所あります。

■訪問介護・介護予防訪問介護

所在地	事業所名
園部	公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター
	ヘルパーステーション長生園
	訪問介護事業所はぎの里オアシス
八木	ラポール介護ステーション
	ほほえみ八木訪問介護事業所
日吉	ほほえみ日吉訪問介護事業所
	はぎの里訪問介護事業所
美山	美山やすらぎホーム
	ほほえみ美山訪問介護事業所

○今後の方向とサービス見込み量

訪問介護・介護予防訪問介護は、在宅での生活を維持していくために大変重要なサービスであることから、市内全圏域にて既存の事業者によるサービスの拡充や新規参入の促進等により、供給量の確保を図るとともに、利用者に対してより質の高いサービス提供や、ヘルパーの増員等の体制整備に努めます。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
訪問介護	回／年	54,709	57,628	60,547
	人／年	3,818	4,023	4,229
介護予防訪問介護	人／年	1,562	1,635	1,709

(2) 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護は、訪問入浴車によりそれぞれの家庭で入浴介護を受けるサービスです。

これまでの実績をみると、訪問入浴介護は計画値よりも上回っており、介護予防訪問入浴介護は計画では見込んでいなかったものの、平成 22 年度に利用がみられます。

アンケート調査結果からは利用状況は 1 割に満たないものの、同程度の利用意向がみられます。

訪問入浴介護

単位：回／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第 4 期計画値	749	761	778
実績値	897	985	1,188
計画進捗状況	119.8%	129.4%	152.7%

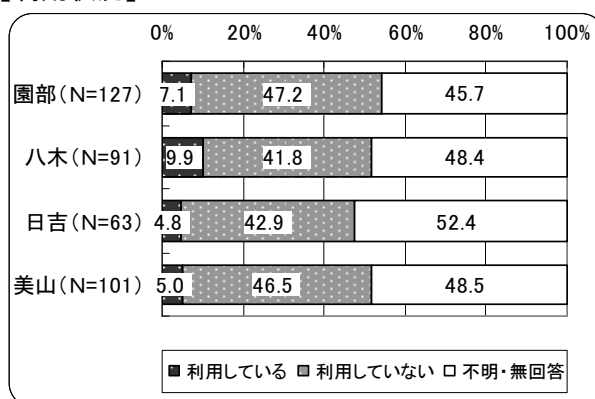
介護予防訪問入浴介護

単位：回／年

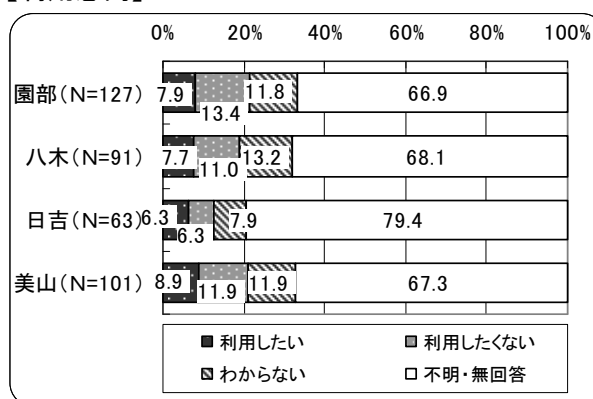
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第 4 期計画値	0	0	0
実績値	0	7	0
計画進捗状況	-	-	-

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には訪問入浴介護提供事業所が2か所、介護予防訪問入浴介護提供事業所が1か所あります。

■訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

所在地	事業所名
園部	公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター
八木	ほほえみ八木訪問入浴介護事業所(訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護)

○今後の方向とサービス見込み量

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護は、現在、サービス提供体制が整っていない圏域（日吉圏域・美山圏域）を中心に事業者の参入を促進します。

訪問入浴介護は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいます。

介護予防訪問入浴介護は見込み量をたてていませんが、今後も利用者ニーズの把握に努めます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
訪問入浴介護	回／年	1,225	1,347	1,468
	人／年	332	365	397
介護予防訪問入浴介護	回／年	0	0	0
	人／年	0	0	0

(3) 訪問看護・介護予防訪問看護

訪問看護とは、主治医の指示に基づいて、訪問看護ステーションや病院・診療所の看護師等が自宅を訪問して療養上の世話や必要な診療の補助を行うサービスです。また、介護予防訪問看護は、主治医の指示に基づいて、看護師や保健師が要支援認定者の家庭を訪問し、介護予防を目的とした健康チェックや療養上の世話または診療補助を行うサービスです。

これまでの実績をみると、訪問看護は計画値よりも大きく上回っており、介護予防訪問看護も同様に大きく上回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が1割程度となっており、利用意向も同程度みられます。

訪問看護

単位：回／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	2,219	2,233	2,257
実績値	4,121	4,854	5,122
計画進捗状況	185.7%	217.4%	226.9%

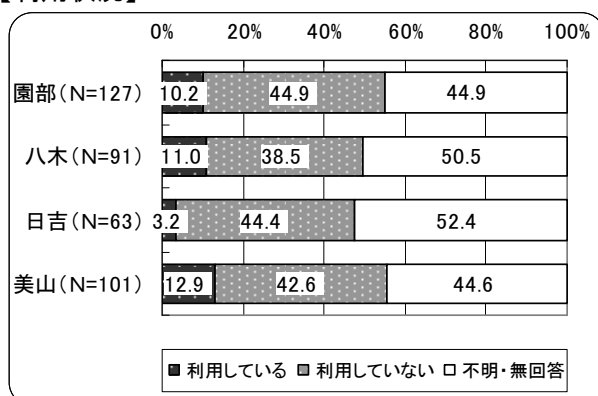
介護予防訪問看護

単位：回／年

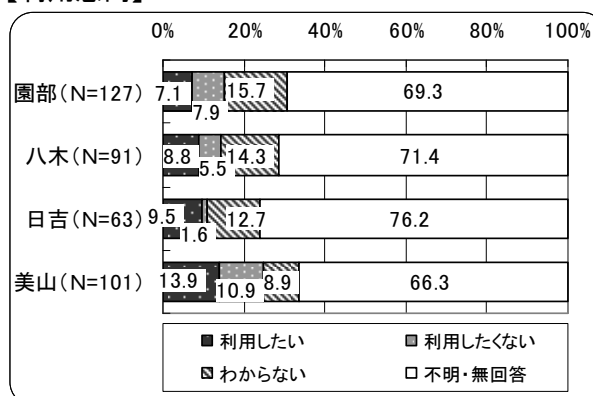
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	289	301	317
実績値	508	715	660
計画進捗状況	175.8%	237.5%	208.2%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には、訪問看護・介護予防訪問看護事業所が2か所あります。

■訪問看護・介護予防訪問看護

所在地	事業所名
園部	医療法人丹医会そのべ訪問看護ステーション
美山	医療法人財団美山健康会美山診療所

○今後の方向とサービス見込み量

訪問看護・介護予防訪問看護は、現在、サービス提供体制が整っていない圏域（八木圏域・日吉圏域）を中心に事業者の参入を促進します。

行政、医療機関、ケアマネジャー、サービス提供事業所の情報交換や連携を密にし、適切なサービス提供に努めます。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
訪問看護	回／年	5,557	5,966	6,375
	人／年	917	982	1,047
介護予防訪問看護	回／年	743	779	814
	人／年	151	158	165

(4) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションとは、病院・診療所の理学療法士（PT）・作業療法士（OT）が自宅を訪問して、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるため必要なリハビリテーションを行うサービスです。また、介護予防訪問リハビリテーションは、要支援認定者に対して理学療法士や作業療法士などの専門家が居宅を訪問し、介護予防を目的に生活機能の維持回復を行うサービスです。

これまでの実績をみると、訪問リハビリテーションは計画値よりも大きく上回っており、介護予防訪問リハビリテーションも同様に大きく上回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が1割程度となっており、利用意向も同程度みられます。特に八木で利用状況・利用意向ともに1割を超えて高くなっています。

訪問リハビリテーション

単位：回／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	551	556	556
実績値	1,328	1,786	2,712
計画進捗状況	241.0%	321.2%	487.8%

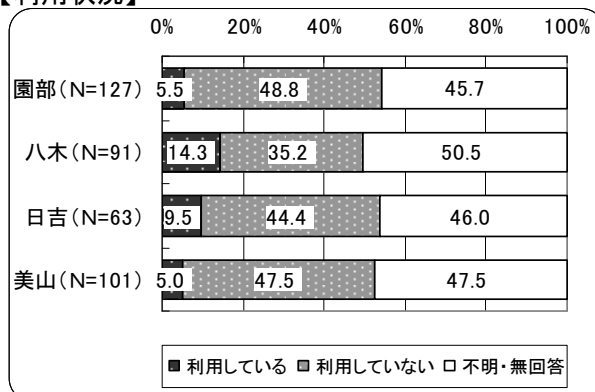
介護予防訪問リハビリテーション

単位：回／年

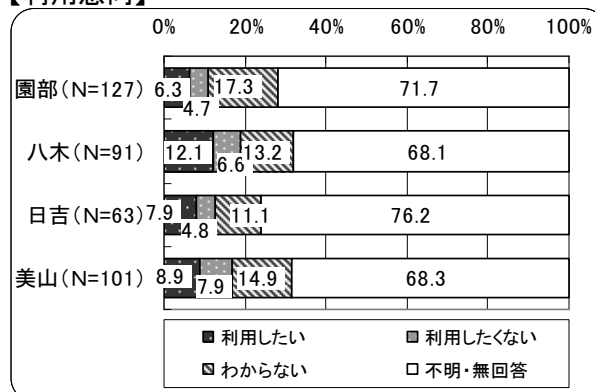
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	32	36	40
実績値	429	487	756
計画進捗状況	1340.6%	1352.8%	1890.0%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○今後の方向とサービス見込み量

訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションは、個々に適した効果的・効率的なリハビリテーションを行うため、通所系サービス事業所やケアマネジャーとの連携について指導・要請していきます。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
訪問リハビリテーション	回／年	3,456	3,672	3,888
	人／年	399	427	454
介護予防訪問リハビリテーション	回／年	921	966	1,012
	人／年	101	106	111

(5)居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

居宅療養管理指導とは、主治医の指示により、病院・診療所の医師・薬剤師等が、自宅を訪問して、心身の状況や環境等をふまえて療養上の管理及び指導を行うサービスです。

これまでの実績をみると、居宅療養管理指導は計画値よりも下回っており、介護予防居宅療養管理指導は平成 21 年度で大きく上回っていますが、平成 22 年度ではほぼ計画値どおりとなっています。

アンケート調査結果からは利用状況が 1 割に満たない状況となっており、利用意向も同程度みられます。

居宅療養管理指導

単位：人／年

区 分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	1,098	1,101	1,104
実績値	896	791	756
計画進捗状況	81.6%	71.8%	68.5%

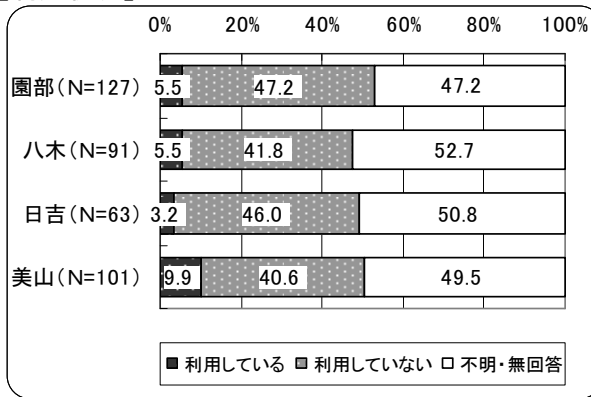
介護予防居宅療養管理指導

単位：人／年

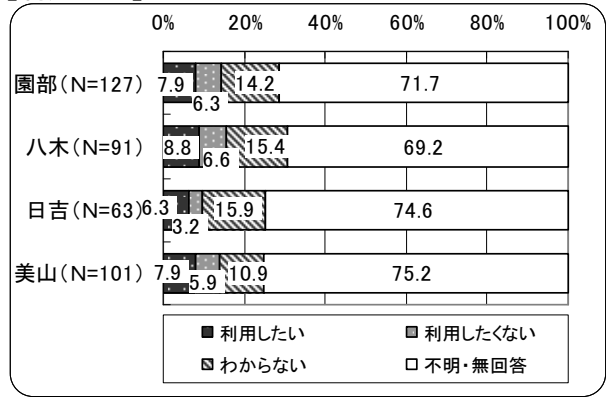
区 分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	61	69	78
実績値	101	77	84
計画進捗状況	165.6%	111.6%	107.7%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○今後の方向とサービス見込み量

居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導は、利用者ニーズに応じた質の高いサービスが提供できるよう事業者（医療機関）とケアマネジャー等との連携について指導・要請するとともに、関係機関との協力体制の確立に努めます。

今期も一定の利用が見込まれるため、これまでの実績をふまえほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
居宅療養管理指導	人／年	761	826	890
介護予防居宅療養管理指導	人／年	88	93	97

(6)通所介護・介護予防通所介護

通所介護（デイサービス）は、デイサービスセンター等に日帰りで通う利用者に対して、入浴・食事の提供、健康チェック、生活指導、ADL（日常生活動作）の向上のためのリハビリなどを行うサービスです。また、介護予防通所介護は、要支援認定者に対して介護予防を目的として、入浴・食事の提供等、日常生活上の世話や日常生活を想定した筋力向上トレーニングや転倒予防のための指導等の機能訓練を行うサービスです。

これまでの実績をみると、通所介護はほぼ計画値どおりとなっており、介護予防通所介護は計画値を下回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が5割を超えており、美山については7割を超えています。利用意向は園部・八木・美山で3割、日吉では2割を超えています。

通所介護

単位：回／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	28,927	29,695	31,064
実績値	29,667	32,690	37,668
計画進捗状況	102.6%	110.1%	121.3%

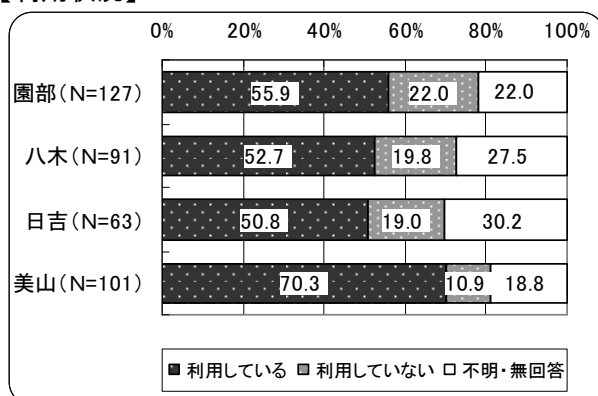
介護予防通所介護

単位：人／年

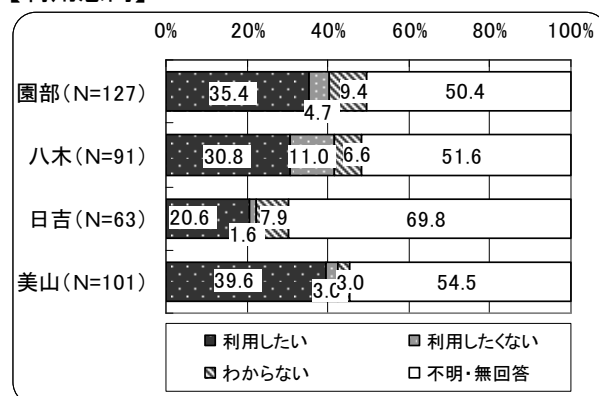
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	1,613	1,674	1,729
実績値	1,266	1,112	1,212
計画進捗状況	78.5%	66.4%	70.1%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には、通所介護・介護予防通所介護事業所が 11 か所あります。

■通所介護・介護予防通所介護

所在地	事業所名
園部	公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター
	デイサービスセンター長生園
	ケアリングみそのまち
八木	ほほえみ八木通所介護事業所
	NPO法人デイハウスほっこり
	デイサービスセンターあおぞら
	デイサービスふれあいハート
日吉	社会福祉法人日吉たには会はぎの里デイサービスセンター
美山	美山デイサービスセンター
	美山こぶしの里デイサービスセンター
	知井デイサービスセンター

○今後の方向とサービス見込み量

通所介護・介護予防通所介護は、認知症対応型のデイサービス事業所と併せて園部圏域（埴生地域）、八木圏域（神吉地域）、日吉圏域において既存の事業者によるサービスの拡充や新規参入の促進等により、供給量の確保を図ります。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
通所介護	回／年	39,258	41,233	43,207
	人／年	4,946	5,200	5,454
介護予防通所介護	人／年	1,284	1,344	1,404

(7)通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

通所リハビリテーションとは、介護老人保健施設や病院・診療所に通う利用者に対して、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるための必要なリハビリテーションを行うサービスです。また、介護予防通所リハビリテーションは、要支援認定者に対しての介護予防を目的として、理学療法士・作業療法士により機能訓練等の必要なサービスの提供を行うものです。

これまでの実績をみると、通所リハビリテーションはほぼ計画値どおりとなっており、介護予防通所リハビリテーションは計画値を下回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が日吉で3割を超えており、八木・美山についても2割近くみられます。利用意向は日吉で2割、八木で1割程度みられます。

通所リハビリテーション

単位：回／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	11,155	11,540	11,822
実績値	10,377	11,977	12,804
計画進捗状況	93.0%	103.8%	108.3%

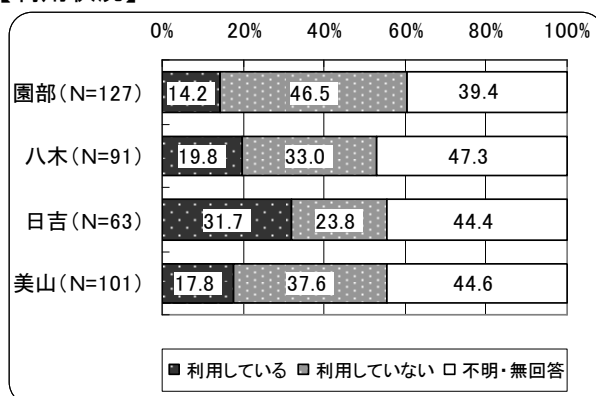
介護予防通所リハビリテーション

単位：人／年

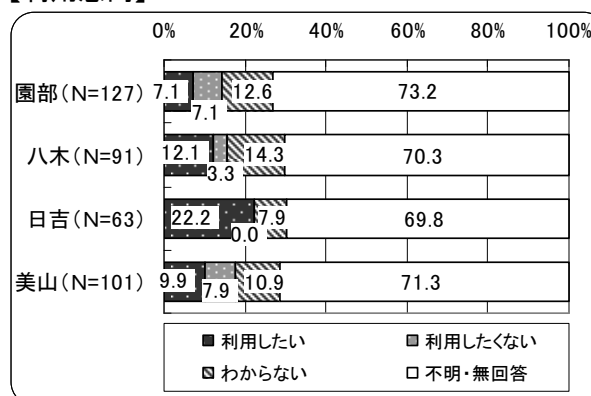
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	944	971	1,001
実績値	736	715	756
計画進捗状況	78.0%	73.6%	75.5%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には、通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション事業所が3か所あります。

■通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

所在地	事業所名
八木	医療法人清仁会介護老人保健施設シミズふないの里
日吉	老人保健施設はぎの里
美山	介護療養型老人保健施設美山健康会

○今後の方向とサービス見込み量

通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーションは、現在、サービス提供体制が整っていない圏域（園部圏域）を中心に事業者の参入を促進します。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
通所リハビリテーション	回／年	13,326	14,029	14,731
	人／年	1,814	1,912	2,010
介護予防通所リハビリテーション	人／年	731	766	801

(8)短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

短期入所生活介護とは、在宅の要介護認定者が介護老人福祉施設等に一時的に入所し、日常生活の世話等を受けるサービスです。また、介護予防短期入所生活介護は、要支援認定者が介護予防を目的とし施設等に一時的に入所しながら、必要な介護等を受けるサービスです。

これまでの実績をみると、短期入所生活介護はほぼ計画値どおりとなっており、介護予防短期入所生活介護は平成 21 年度で上回っていますが、平成 22 年度ではほぼ計画値どおりとなっています。

アンケート調査結果からは利用状況が八木・美山で2割を超えており、利用意向についても同程度みられます。

短期入所生活介護

単位：日／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	20,350	20,790	23,120
実績値	18,285	19,675	20,880
計画進捗状況	89.9%	94.6%	90.3%

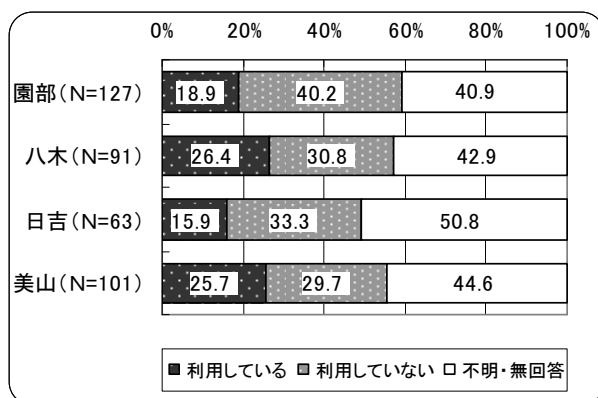
介護予防短期入所生活介護

単位：日／年

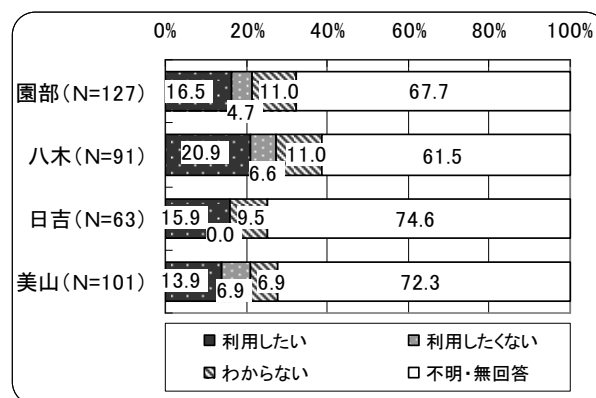
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	268	282	297
実績値	321	255	216
計画進捗状況	119.8%	90.4%	72.7%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には、短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業所が5か所あります。

■短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

所在地	事業所名
園部	社会福祉法人長生園
八木	特別養護老人ホームヴィラ多国山短期入所
	ラポールもろはた
日吉	社会福祉法人日吉たには会特別養護老人ホームはぎの里
美山	美山やすらぎホーム

○今後の方向とサービス見込み量

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護は、現状程度のサービス提供体制を確保するとともに、今後も利用者に対してより質の高いサービス提供体制の整備に努めます。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用日数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
短期入所生活介護	日／年	21,408	22,620	23,831
	人／年	2,187	2,311	2,434
介護予防短期入所生活介護	日／年	278	292	306
	人／年	63	66	69

(9)短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

短期入所療養介護とは、在宅の要介護認定者が介護老人保健施設や介護療養型医療施設等に一時的に入所し、看護・医学的管理下の介護・機能訓練等を受けるサービスです。また、介護予防短期入所療養介護は、要支援認定者が施設に入所し、看護・医学的管理下で介護予防を目的とした介護・機能訓練を受けるサービスです。

これまでの実績をみると、短期入所療養介護は計画値を上回っており、介護予防短期入所療養介護は計画値を大きく下回っています。

短期入所療養介護

単位：日／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	4,074	4,345	4,504
実績値	4,755	5,937	6,480
計画進捗状況	116.7%	136.6%	143.9%

介護予防短期入所療養介護

単位：日／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	451	481	504
実績値	112	123	132
計画進捗状況	24.8%	25.6%	26.2%

○供給体制

市内には、短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護事業所が4か所あります。

■短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

所在地	事業所名
園部	医療法人川西診療所
八木	医療法人清仁会介護老人保健施設シミズふないの里
日吉	老人保健施設はぎの里
美山	介護療養型老人保健施設美山健康会

○今後の方向とサービス見込み量

短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護は、現状程度のサービス提供体制を確保するとともに、今後も利用者に対してより質の高いサービス提供体制の整備に努めます。

今期は、短期入所療養介護では要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用日数の増加を見込んでいますが、介護予防短期入所療養介護では、これまでの実績をふまえほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
短期入所療養介護	日／年	7,574	8,127	8,681
	人／年	770	821	871
介護予防短期入所療養介護	日／年	134	140	147
	人／年	32	33	35

(10) 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

特定施設入居者生活介護とは、有料老人ホームや軽費老人ホーム等の入居者が、その施設で特定施設サービス計画に基づき、介護や日常生活の世話、機能訓練・療養上の世話を受けるサービスです。

これまでの実績をみると、特定施設入居者生活介護は計画値をやや下回っており、介護予防特定施設入居者生活介護は平成 21 年度で計画値を上回っているものの、平成 22 年度には大きく下回っています。

特定施設入居者生活介護

単位：人／年

区 分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	96	96	96
実績値	88	87	72
計画進捗状況	91.7%	90.6%	75.0%

介護予防特定施設入居者生活介護

単位：人／年

区 分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	24	24	24
実績値	29	5	0
計画進捗状況	120.8%	20.8%	-

○供給体制

市内には、特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護事業所が1か所あります。

■特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

所在地	事業所名
園部	社会福祉法人長生園養護特定施設入居者生活介護

○今後の方向とサービス見込み量

特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護は、今後も必要な供給体制が確保できるよう既存事業者との連携を密にするとともに、利用者に対してより質の高いサービスが提供できるよう体制整備に努めます。

今期は、これまでの実績をふまえ一定の利用者数を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
特定施設入居者生活介護	人／年	62	62	62
介護予防特定施設入居者生活介護	人／年	12	12	12

(11)福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

福祉用具貸与とは、介護ベッドや車いすなどの福祉用具をレンタルできるサービスです。また、介護予防福祉用具貸与は、要支援認定者が介護予防を目的として福祉用具をレンタルできるサービスです。

これまでの実績をみると、福祉用具貸与は計画値を上回っており、介護予防福祉用具貸与についても計画値を大きく上回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が園部・八木・日吉で4割程度となっており、利用意向についても園部・八木で3割近くみられます。

福祉用具貸与

単位：人／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	3,158	3,221	3,239
実績値	3,736	4,313	4,728
計画進捗状況	118.3%	133.9%	146.0%

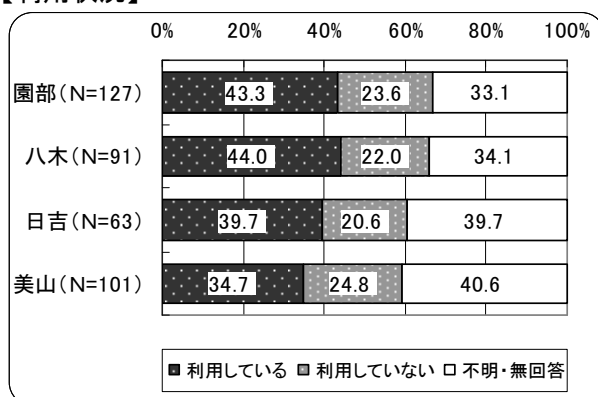
介護予防福祉用具貸与

単位：人／年

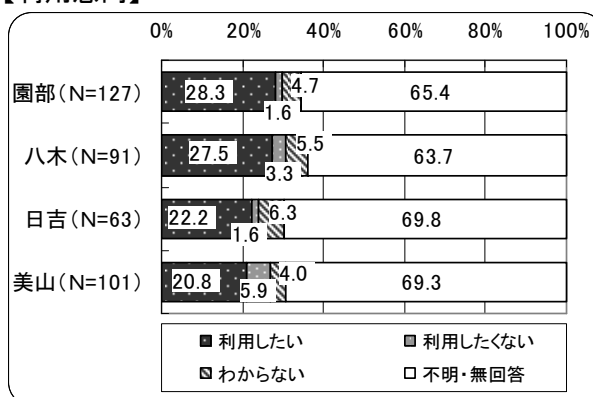
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	561	565	570
実績値	876	1,115	1,212
計画進捗状況	156.1%	197.3%	212.6%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与事業所が2か所あります。

■福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

所在地	事業所名
園部	有限会社クローバー
	有限会社いなふ

○今後の方向とサービス見込み量

福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与は、その効果や必要性を適切に判断した上での利用を定着させるため、事業者に対する研修会の開催や指導を行うとともに、ケアマネジャーに対する相談対応や支援に努めます。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
福祉用具貸与	人／年	4,807	5,091	5,374
介護予防福祉用具貸与	人／年	1,260	1,320	1,380

(12) 特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売

特定福祉用具販売の対象となる福祉用具には、衛生管理などの問題でレンタルが難しい特殊尿器・腰かけ便座・入浴補助用具・浴槽用手すり等があります。特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売は、これらを購入した場合にその費用の一部を支給するものです。

これまでの実績をみると、特定福祉用具販売はほぼ計画値どおりとなっており、特定介護予防福祉用具販売は計画値を上回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が2割以上となっており、利用意向についても日吉で2割以上、その他の地域についても1割以上みられます。

特定福祉用具販売

単位：人／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	144	144	144
実績値	124	131	156
計画進捗状況	86.1%	91.0%	108.3%

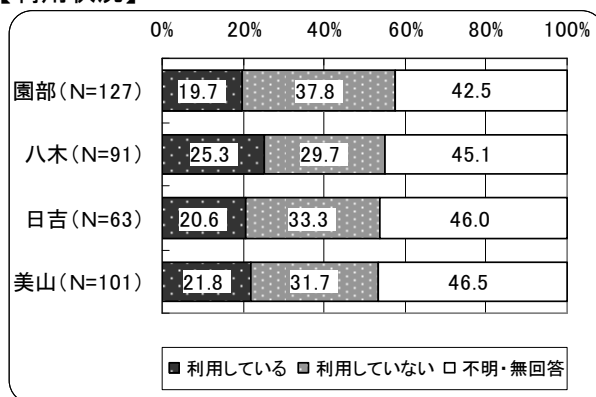
特定介護予防福祉用具販売

単位：人／年

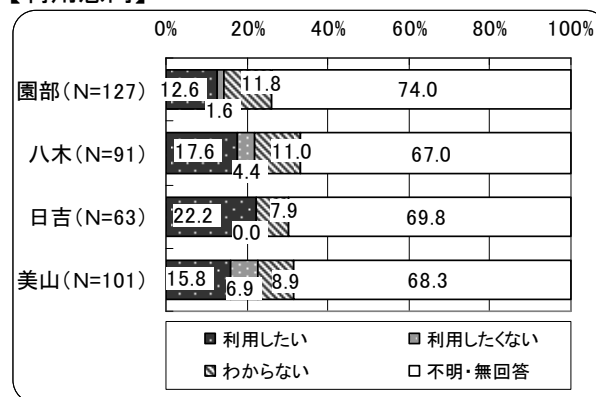
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	46	52	59
実績値	63	57	60
計画進捗状況	137.0%	109.6%	101.7%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には、特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売事業所が2か所あります。そして、市外の事業所を含めサービスが提供されています。

■特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売

所在地	事業所名
園部	有限会社クローバー
	有限会社いなふ

○今後の方向とサービス見込み量

特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売は、その効果や必要性を適切に判断した上で、の利用を定着させるため、事業者に対する研修会の開催や指導を行うとともに、ケアマネジャーに対する相談対応や支援に努めます。

今期も一定の利用が見込まれるため、これまでの実績をふまえ算定しています。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
特定福祉用具販売	人／年	156	156	156
特定介護予防福祉用具販売	人／年	72	72	72

(13)住宅改修

住宅改修では、要介護高齢者等の居宅での生活上の障壁を軽減するために、利用者は手すりの取り付けや、段差の解消等を行う場合の費用の9割を保険給付として受けることができます。

これまでの実績をみると、住宅改修は平成21年度でほぼ計画値どおりとなっていますが、平成22年度では下回っています。住宅改修（介護予防）については計画値を大きく下回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が美山で4割近くとなっています。利用意向については園部・八木・日吉で2割以上みられます。

住宅改修

単位：人／年

区分	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 見込み
第4期計画値	96	96	96
実績値	92	75	108
計画進捗状況	95.8%	78.1%	112.5%

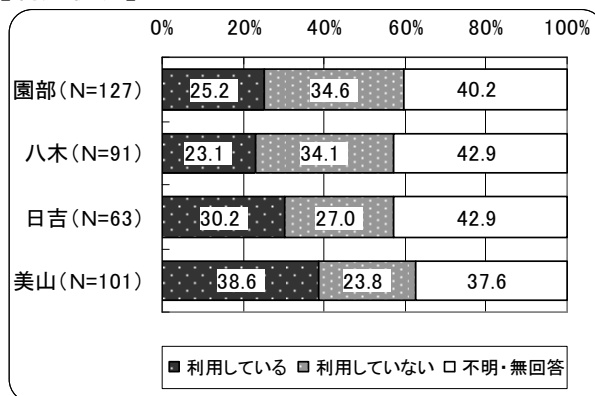
住宅改修（介護予防）

単位：人／年

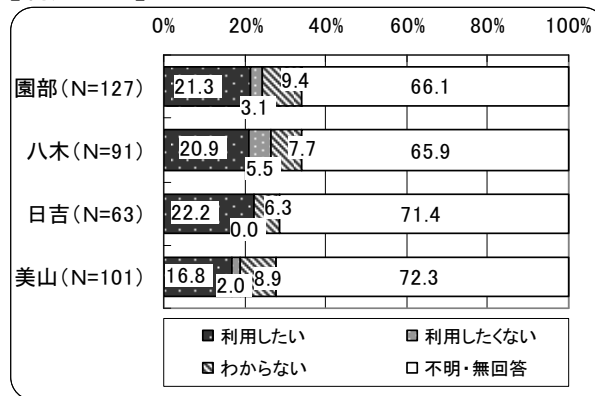
区分	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 見込み
第4期計画値	91	102	115
実績値	49	48	60
計画進捗状況	53.8%	47.1%	52.2%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○今後の方向とサービス見込み量

住宅改修は、利用者に制度の周知を図るとともに、事前申請時におけるケアマネジャー、改修業者に対する指導・支援により適正な改修を推進します。

今期も一定の利用が見込まれるため、これまでの実績をふまえ算定しています。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
住宅改修(介護)	人/年	132	132	132
住宅改修(予防)	人/年	60	60	60

(14)居宅介護支援・介護予防支援

居宅介護支援とは、在宅の要介護認定者が、介護保険から給付される在宅サービス等を適正に利用できるように、要介護認定者と契約した居宅介護支援事業所に属するケアマネジャーが、介護サービス計画の作成、居宅サービス事業者との連絡調整や、介護保険施設への紹介等のケアマネジメントを行うサービスです。また、介護予防支援は、要支援認定者に対する介護予防サービスのケアプランを作成するものです。

これまでの実績をみると、居宅介護支援はほぼ計画値どおりとなっており、介護予防支援についてもほぼ計画値どおりとなっています。

居宅介護支援

単位：人/年

区 分	平成 21 年度 実 績	平成 22 年度 実 績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	8,098	8,143	8,171
実績値	8,069	8,876	9,468
計画進捗状況	99.6%	109.0%	115.9%

介護予防支援

単位：人/年

区 分	平成 21 年度 実 績	平成 22 年度 実 績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	3,345	3,365	3,413
実績値	3,359	3,236	3,420
計画進捗状況	100.4%	96.2%	100.2%

○供給体制

市内には居宅介護支援事業所が18か所、介護予防支援事業所が2か所あります。

■居宅介護支援

所在地	事業所名
園部	医療法人川西診療所居宅介護支援事業所
	医療法人丹医会園部丹医会病院居宅介護支援事業所
	長生園居宅介護支援事業所
	公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター
	ほほえみ園部居宅介護支援事業所
	社団法人京都府医師会居宅介護支援事業所
	居宅介護支援事業所はぎの里オアシス
	ケアリング居宅介護時事業所
八木	医療法人清仁会介護老人保健施設シミズふないの里居宅介護支援事業所
	ラポール八木居宅介護支援センター
	ほほえみ八木居宅介護支援事業所
	居宅介護支援センターほっこり
日吉	はぎの里ケアプランセンター
	ほほえみ日吉居宅介護支援事業所
美山	医療法人財団美山健康会美山診療所
	美山やすらぎホーム
	居宅介護支援事業所美山こぶしの里
	ほほえみ美山居宅介護支援事業所

■介護予防支援

所在地	事業所名
園部	南丹地域包括支援センター
日吉	南丹地域包括支援センター

○今後の方向とサービス見込み量

居宅介護支援・介護予防支援は、利用者の心身の状態や生活環境に応じた適切なケアプラン・予防プランが作成されるようケアマネジャーの資質向上に関する取り組みや、居宅介護支援事業所と南丹地域包括支援センターとの連携体制の構築に努めます。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
居宅介護支援	人／年	9,516	9,828	10,140
介護予防支援	人／年	3,420	3,528	3,636

3 地域密着型サービスの推進

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

重度者をはじめとした要介護認定者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応を行うサービスです。

○今後の方向とサービス見込み量

定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、現時点で事業者の参入見込みがないため、第5期計画においてはサービス量を見込んでいません。今後の利用者ニーズの把握に努めるとともに、事業実施時には特に夜間等における介護従事者の人的資源の有効活用を図る観点からも、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設等の既に24時間体制を取っている施設・事業所を拠点とした事業展開等について検討・協議をします。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人／年	0	0	0

(2) 夜間対応型訪問介護

在宅にいる場合でも、夜間を含め24時間安心して生活できるように、夜間において、定期的な巡回訪問により、または通報を受け、訪問介護サービスを提供するものです。

夜間対応型訪問介護について、実績はありません。

夜間対応型訪問介護

単位：回／年

区 分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	0	0	0
実績値	0	0	0
計画進捗状況	—	—	—

○今後の方向とサービス見込み量

夜間対応型訪問介護は、現時点で事業者の参入見込みがないため、第5期計画においてはサービス量を見込んでいません。厚生労働省では人口20万～30万人規模以上の都市でのサービス提供を想定していることから、広域的な対応が必要であると考えられるため近隣市町と連携しながら今後の事業実施に向け検討・協議をします。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
夜間対応型訪問介護	人／年	0	0	0

(3) 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

認知症ではあるものの、ADL（日常生活動作能力）の比較的自立している要介護認定者について、デイサービスセンター等において日常生活上の世話や機能訓練を行うサービスです。

これまでの実績をみると、認知症対応型通所介護は計画値を下回っており、介護予防認知症対応型通所介護については平成21年度で大きく上回っていたものの、平成22年度では下回っています。

アンケート調査結果からは利用状況が八木で1割以上となっており、利用意向については八木・美山で1割近くみられます。

認知症対応型通所介護

単位：回／年

区分	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 見込み
第4期計画値	7,253	8,284	8,996
実績値	6,755	6,918	8,004
計画進捗状況	93.1%	83.5%	89.0%

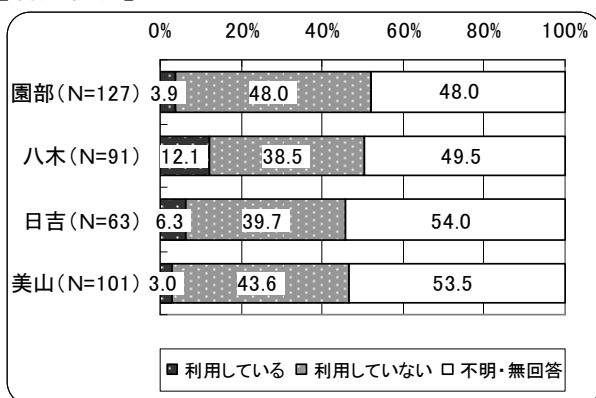
介護予防認知症対応型通所介護

単位：回／年

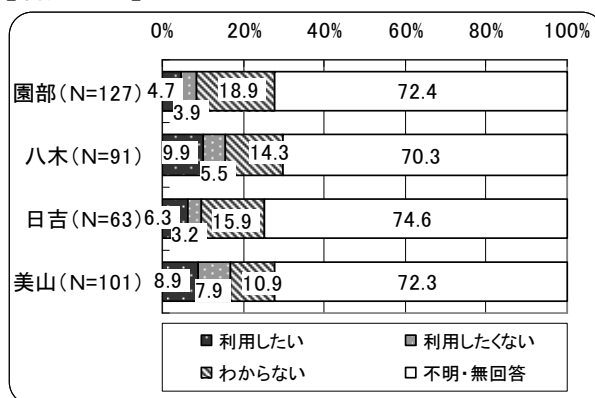
区分	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 見込み
第4期計画値	20	24	31
実績値	95	15	24
計画進捗状況	475.0%	62.5%	77.4%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護事業所が4か所あります。

■認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

所在地	事業所名
八木	やぎ詩の郷
	ラポールデイサービスセンターくま五郎の家
美山	美山こぶしの里デイサービスセンター
	美山デイサービスセンター

○今後の方向とサービス見込み量

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護は、一般型のデイサービス事業所と併せて園部圏域（埴生地域）、八木圏域（神吉地域）、日吉圏域において既存の事業者によるサービスの拡充や新規参入の促進等により、供給量の確保を図ります。

今期は、認知症対応型通所介護では要介護認定者の増加にともなう利用者数及び利用回数の増加を見込んでいますが、介護予防認知症対応型通所介護では、これまでの実績をふまえほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
認知症対応型通所介護	回／年	8,187	8,599	9,010
	人／年	946	992	1,038
介護予防認知症対応型通所介護	回／年	25	26	27
	人／年	13	13	14

(4)小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護は「通い」を中心として、居宅介護者の心身の状況、その置かれている環境や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせサービスを提供し、在宅での生活継続を支援するサービスです。

これまでの実績をみると、小規模多機能型居宅介護はほぼ計画値どおりとなっており、介護予防小規模多機能型居宅介護については平成 21 年度で下回っていたものの、平成 22 年度ではほぼ計画値どおりとなっています。

アンケート調査結果からは利用状況は 1 割に満たないものの、同程度の利用意向がみられます。

小規模多機能型居宅介護

単位：人／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	120	120	120
実績値	127	134	132
計画進捗状況	105.8%	111.7%	110.0%

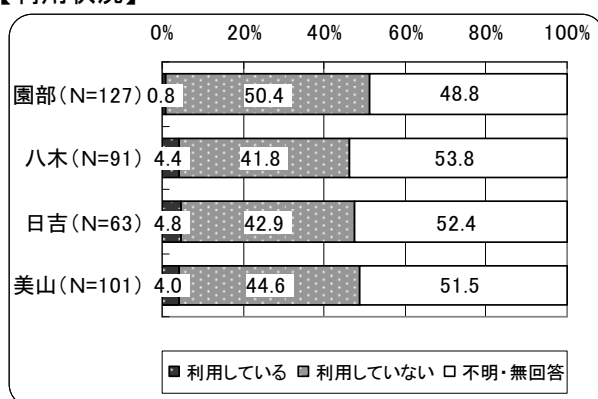
介護予防小規模多機能型居宅介護

単位：人／年

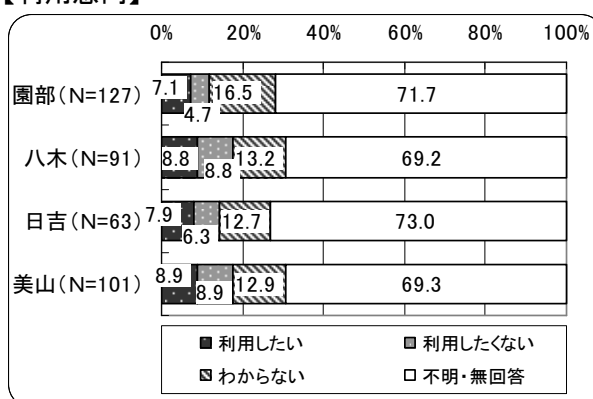
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	81	81	81
実績値	67	76	84
計画進捗状況	82.7%	93.8%	103.7%

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護事業所が3か所あります。

■小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

所在地	事業所名
園部	小規模多機能ホームだんない
	(仮)はぎの里オアシス(平成24年8月からサービス提供開始予定)
日吉	はぎの里ふれあいホーム

○今後の方向とサービス見込み量

小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護は、より柔軟なサービス提供が可能となるよう第5期事業計画から新たに創設される小規模多機能型居宅介護と訪問看護等を組み合わせてサービス提供する「複合型事業所」への移行について、事業者と検討・協議をします。

今期は、要介護認定者の増加にともなう利用者数の増加を見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
小規模多機能型居宅介護	人／年	286	362	381
介護予防小規模多機能型居宅介護	人／年	189	237	248

(5) 認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護は、身近な地域で、比較的安定状況にある認知症高齢者が共同生活をし、家庭的な雰囲気の中で、入浴・排泄・食事等の介護や日常生活の支援、機能訓練を受けるサービスです。

これまでの実績をみると、認知症対応型共同生活介護は計画値を下回っており、介護予防認知症対応型共同生活介護は計画では見込んでいなかったものの、平成 22 年度に利用がみられます。

アンケート調査結果からは利用状況は 1 割に満たないものの、同程度の利用意向がみられます。

認知症対応型共同生活介護

単位：人／年

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	336	444	552
実績値	254	276	312
計画進捗状況	75.6%	62.2%	56.5%

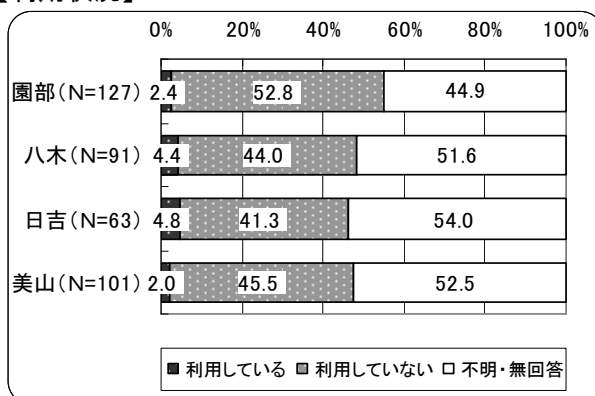
介護予防認知症対応型共同生活介護

単位：人／年

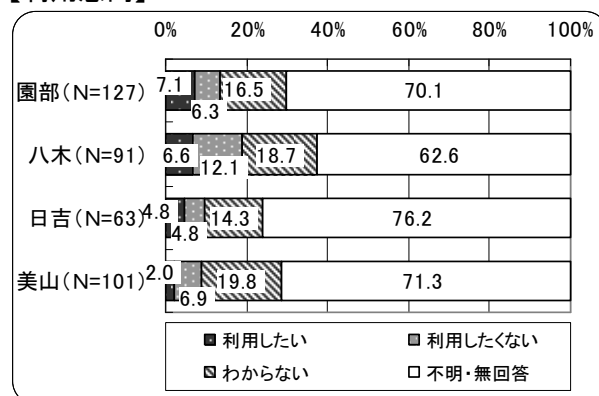
区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	0	0	0
実績値	0	6	0
計画進捗状況	-	-	-

○アンケート調査結果（要支援・要介護者対象）

【利用状況】



【利用意向】



○供給体制

市内には認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護事業所が5か所あります。

■認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護

所在地	事業所名
園部	グループホーム幸せの里
	(仮)はぎの里オアシス(平成24年8月からサービス提供開始予定)
八木	グループホームちくりんえん
	グループホームかたらいの家
美山	グループホームみやま

○今後の方向とサービス見込み量

認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護は、第5期計画期間内に園部圏域において1ユニット・定員9名(平成24年度整備予定)と、美山圏域において1ユニット・定員9名(平成25年度整備予定)の整備を行います。

今後もグループホームと地域住民との交流活動を支援し、地域住民の認知症に対する正しい知識の普及啓発を図ります。

今期のサービス見込み量は、上記整備に係る増加分を見越して計上しています。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
認知症対応型共同生活介護	人/年	420	524	632
介護予防認知症対応型共同生活介護	人/年	0	0	0

(6) 地域密着型特定施設入居者生活介護

地域密着型特定施設入居者生活介護は、入居定員が 29 人以下の有料老人ホームやケアハウスの入居者（要介護認定者、その配偶者その他厚生労働省令で定める者）に対し、介護サービス計画に基づいて、食事や入浴、排泄等の介助やその他日常生活上の介助、機能訓練を行うサービスです。

地域密着型特定施設入居者生活介護について、実績はありません。

○今後の方向とサービス見込み量

地域密着型特定施設入居者生活介護は、現時点で事業者の参入見込みがないため、第 5 期事業計画においてはサービス量を見込んでいません。今後の利用者ニーズの把握に努めます。

第 5 期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
地域密着型特定施設入居者生活介護	人／年	0	0	0

(7)地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

居宅での介護が困難な方が特別養護老人ホーム（入所定員が29人以下）に入所して、食事や入浴、排泄など日常生活の介助、機能訓練、健康管理などのサービスを受けるものです。

市内には、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業所が1か所あります。

■地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

所在地	事業所名
園部	(仮)はぎの里オアシス(平成24年8月からサービス提供開始予定)

○今後の方向とサービス見込み量

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、第4期計画の最終年度（平成23年度）に園部圏域において2ユニット・定員20名の整備を行いました。

第5期事業計画期間でも、園部圏域において2ユニット・定員20名の整備を行います。（平成25年度整備予定）

今期のサービス見込み量は、上記の施設整備を見越して計上しています。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人/月	10	20	40

(8)複合型サービス

小規模多機能型居宅介護と訪問看護など、複数の居宅サービスや地域密着型サービスを複合型事業所において組み合わせて提供するサービスのことです。

○今後の方向とサービス見込み量

複合型サービスは、現時点で事業者の参入見込みがないため、第5期事業計画においてはサービス量を見込んでいません。今後、事業者（既存の小規模多機能型居宅介護事業者）等と検討・協議をします。

第5期計画のサービス見込み量

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
複合型サービス	人/年	0	0	0

4 施設サービスの推進

(1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は、施設サービス計画に基づいて、介護等の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の管理を行うサービスを提供する施設です。

これまでの実績をみると、ほぼ計画値どおりとなっています。

介護老人福祉施設

単位：人／月

区分	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 実績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	280	280	280
実績値	269	269	271
計画進捗状況	96.1%	96.1%	96.8%

※ 各年度 2 月サービス提供実績値

○供給体制

市内に特別養護老人ホームは、4 か所あります。

■特別養護老人ホーム

所在地	事業所名
園部	特別養護老人ホーム長生園
八木	特別養護老人ホームヴィラ多国山
日吉	特別養護老人ホームはぎの里
美山	特別養護老人ホーム美山やすらぎホーム

○今後の方向とサービス見込み量

介護老人福祉施設は、第5期事業計画期間内において本市内での新設計画や、既存施設での増床計画はありません。

今後も入所者に対するサービスの質的向上に向け、個室化の推進、ユニットケアの導入など事業者の取り組みを支援します。

今期のサービス見込み量は、横ばいで推移すると見込んでいます。

第5期計画のサービス見込み量

区分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
介護老人福祉施設	人／月	280	280	280

(2) 介護老人保健施設

介護老人保健施設は、施設サービス計画に基づいて、医学的管理下における介護及び機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うサービスを提供する施設です。

これまでの実績をみると、計画値を上回っています。

介護老人保健施設

単位：人／月

区 分	平成 21 年度 実 績	平成 22 年度 実 績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	94	94	94
実績値	118	115	108
計画進捗状況	125.5%	122.3%	114.9%

※ 各年度 2 月サービス提供実績値

○供給体制

市内に介護老人保健施設は 3 か所あります。

■介護老人保健施設

所在地	事業所名
八木	医療法人清仁会介護老人保健施設シミズふないの里
日吉	老人保健施設はぎの里
美山	介護療養型老人保健施設美山健康会

○今後の方向とサービス見込み量

介護老人保健施設は、病院などと自宅との中間施設として個別のリハビリテーションなどにより在宅復帰への取り組みを進める必要があります。

今期は、特別養護老人ホームや小規模特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームの整備状況をふまえ見込み量を算定しています。

第 5 期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
介護老人保健施設	人／月	100	100	100

(3) 介護療養型医療施設

介護療養型医療施設は、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護等の世話及び機能訓練、その他必要な医療を行うサービスを提供する施設です。

これまでの実績をみると、ほぼ計画値どおりとなっています。

介護療養型医療施設

単位：人／月

区 分	平成 21 年度 実 績	平成 22 年度 実 績	平成 23 年度 見込み
第4期計画値	38	38	38
実績値	42	35	37
計画進捗状況	110.5%	92.1%	97.4%

※ 各年度 2 月サービス提供実績値

○供給体制

市内に介護療養型医療施設は 1 か所あります。

■介護療養型医療施設

所在地	事業所名
園部	医療法人川西診療所

○今後の方向とサービス見込み量

介護療養型医療施設は、平成 23 年度末までに老人保健施設や特別養護老人ホームなどの介護施設等に転換し、制度は廃止されることとなっていました。その転換期限が 6 年間延長されることとなりました。利用者に混乱を与えることなくスムーズな転換が行えるよう今後も事業者に対する情報提供や相談対応等に努めます。

今期は、特別養護老人ホームや小規模特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームの整備状況をふまえ見込み量を算定しています。

第 5 期計画のサービス見込み量

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
介護療養型医療施設	人／月	36	36	36

5 介護保険事業の適正・円滑な運営に向けて

(1) 介護給付の適正化

① 適正な認定調査と認定審査の実施

認定調査は、その調査結果が要支援・要介護認定の基本的な資料となることから公平公正に行われる必要があります。

したがって、認定調査員に対して、定められた調査方法や判定基準での認定調査・特記事項の記載を徹底するため、定期的に研修を実施し調査員としての資質向上に努めます。

また、府や地元医師会とも連携し、研修や情報提供を行うなど、主治医意見書の記載が適切に行われるとともに記載内容の充実が図られるよう取り組みます。

そして、認定審査会資料である認定調査結果と主治医意見書は、市職員によりすべて事前に確認を行い、適正な認定審査が円滑に実施されるよう取り組みます。

② 適正な介護認定審査会の運営

認定審査は、その審査判定結果が被保険者のサービス利用に直結し、保険給付の基準にもなるため適正に行われる必要があります。

本市の介護認定審査会は複数の合議体により構成されており、認定審査はそれぞれの合議体で実施されるため、定められた手法及び基準により審査判定がなされるよう、研修や委員相互の意見交換などの機会を設け、認定審査の平準化や適正な介護認定審査会の運営に努めます。

③ 介護保険事業にかかわる評価の推進

介護保険事業を適正かつ円滑に運営していくためには、サービス利用状況の動向を見極め、現状を把握することが大切です。

そのため、定期的にサービスの利用状況、計画の達成状況、保険給付費の推移などを評価・分析し、介護保険計画策定委員会で報告、協議するとともに、今後の事業運営に活かせるよう取り組みます。

④ 介護給付適正化に向けた取り組みの推進

介護保険事業を安定的に運営していくためには、利用者の自立支援に向けた適切なサービスが提供されているかを定期的に確認し、常に適正な給付が行われるようにする必要があります。

今後も、国民健康保険団体連合会から提供される情報から縦覧点検や医療情報との突合を実施し、介護給付適正化システムの活用やケアプランチェックなどにより審査・点検体制を強化します。

また、住宅改修費支給の事前申請の徹底を図り、福祉用具購入・貸与についても、利用者の身体状況や生活環境に応じた内容かを審査・点検し、適正な給付がされるよう努めます。

(2)介護サービスの質・量の確保

①在宅サービスの重視と地域密着型サービスの推進

介護サービスの利用者やその介護者の多くは、可能なかぎり住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう望んでいます。また、今回のアンケート調査では要介護認定を受けていない人も、将来介護が必要な状態になった場合には、サービスを活用しながら自宅での生活を望むとする結果が多くみられました。一方では身体機能の状況や家庭環境により、施設サービスを希望される人も少なくなく、待機者が発生している実態もあります。

そのような状況の下、本市では介護を必要とする高齢者などが在宅での生活を続けられるよう、地域全体で支え合う体制づくりを推進するとともに、保健・福祉・医療の連携強化による支援の充実、在宅サービスの質の向上や利用の促進に取り組みます。

また、今後さらに高齢者人口が増加し、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、認知症高齢者の増加にともない、地域に根付いた介護サービスの需要が高まることを見込まれるため、日常生活圏域における利用者ニーズを的確に捉え、新規参入事業者の誘導も含め地域密着型サービスの充実と推進に努めます。

②サービス提供体制の整備に係る考え方

1) 居宅系サービス

通所介護・介護予防通所介護については、在宅介護の中心となるサービスで、アンケートにおける利用状況・利用意向の集計結果からもその重要性はうかがえます。第5期事業計画では、園部圏域（埴生地域）において1事業所（定員15名）、八木圏域（神吉地域）において1事業所（定員10名）を整備するとともに、日吉圏域において新規参入事業者の誘導に努め、サービス供給体制の整備を図ります。

2) 地域密着型サービス

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護は、現在、八木圏域に2事業所（定員24名）、美山圏域に2事業所（定員22名）が整備されています。認知症高齢者の増加にともない、今後、利用ニーズが高くなることが予想されるサービスであるため、第5期事業計画では、園部圏域（埴生地域）、八木圏域（神吉地域）及び日吉圏域において整備促進を図ります。

認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護は、現在、園部圏域に2事業所（定員27名）、八木圏域に2事業所（定員18名）、美山圏域に1事業所（定員9名）が整備されています。認知症高齢者の増加にともない、今後、利用ニーズが高くなることが予想されるサービスであるため、第5期事業計画では、園部圏域に1事業所（定員9名）、美山圏域に1事業所（定員9名）を整備するとともに、日吉圏域においては、新規参入事業者の誘導に努め、サービス供給体制の整備を図ります。

小規模多機能型居宅介護事業所は、現在、園部圏域に2事業所、日吉圏域に1事業所が整備されています。第5期事業計画では、八木圏域及び美山圏域において、新規参入事業者の誘導に努め、サービス供給体制の整備を図ります。

また、既存の小規模多機能型居宅介護事業所においては、より柔軟なサービス提供が可能となるよう第5期事業計画から新たに創設される小規模多機能型居宅介護と訪問看護等を組み合わせ提供する複合型事業所への移行について、事業者と協議を行います。

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、現在、園部圏域に1事業所（定員20名）が整備されています。第5期事業計画においても、園部圏域に1事業所（定員20名）を整備し、施設入所待機者の解消に向け取り組みます。

3) 施設系サービス

特別養護老人ホームの整備は広域（南丹圏域：亀岡市・南丹市・京丹波町）での床数設定、床数管理が行われます。

第5期事業計画では、広域型の特別養護老人ホームについては、本市内での新たな施設整備計画や既存施設での増床計画はありませんが、入所者へのサービスの質的向上を図るため、既存の施設における個室化の推進、ユニットケアの導入など事業者の取り組みを支援します。

③ケアマネジャーの育成、質的向上

高齢化の進展や介護保険制度の定着にともない、介護サービスの利用者は今後も増加すると見込まれています。そのため、ケアマネジャーの役割は今後ますます重要になり、利用者のニーズに応じた適切なケアマネジメントが行われるためには、ケアマネジャーに高い資質が求められます。

ケアマネジャーは介護保険制度の要であり、サービス利用者にとって最も身近な存在であることから、ケアマネジャーの資質の向上が介護サービス全体の質の向上につながります。これまでも、地域包括支援センターを中心に連絡協議会等で事例検討や専門的な研修を行っており、ケアマネジャー同士の連携、必要な知識の習得に取り組んでいます。

本市では、今後も各種研修会への参加を促すとともに積極的に情報提供を行い、ケアマネジャーからの相談にきめ細かに対応するなど、ケアマネジャーの質的向上と支援に努めます。

④サービス事業者への指導・助言

利用者に適切なサービスが提供されサービスの質の維持・向上を図るためには、事業者に対し指定基準・運営基準等の遵守を徹底するとともに、保険者の立場から指導・助言を行うことが重要です。

そのため、京都府や関係機関と連携しながら、事業者への立ち入り調査などを実施し、事業者による不正の防止と適正なサービスを提供できる体制づくりに努めます。

また、地域密着型サービスについては市町村が指定・指導監督権限を有しているため、利用者に対し、適切でより良いサービスが提供されるよう事業者との連携を深め、積極的に情報提供などの支援・助言を行い、事業者への立ち入り調査も実施しながら指導・監督に取り組みます。

(3) サービス利用の促進

介護保険制度は、介護を必要とする人を社会全体で支える仕組みとして徐々に定着してきていますが、アンケート調査の結果からも、特に要介護認定を受けていない人については制度自体の認知度が低い状況にあり、市民が介護保険制度を理解し適切にサービスを利用できるよう、制度の周知を図る必要があります。

高齢者だけではなく幅広い年齢層に介護保険制度の周知を図り、保険料などの費用負担の仕組みについても市民の理解を深めるため、パンフレット等を配布し、市の広報誌やホームページ・CATV等の活用、出前講座の実施など、さまざまな面から広報活動に取り組みます。

また、サービス事業所やケアマネジャーによる制度説明や相談対応を支援するため、情報提供等を積極的に行い、より一層の普及啓発に努めます。

(4) 介護相談員の派遣によるサービスの質の向上

利用者や家族が抱える介護サービスについてのさまざまな疑問や不安、要望等を聴き、サービス提供事業者や市へつなげる橋渡し役として、事業所に介護相談員を派遣します。

そして、介護相談員やサービス提供事業者との連携により、利用者等から寄せられるサービス提供における課題の早期把握とその改善に努め、利用者ニーズに応じた適切なサービスの提供と質の向上に努めます。

(5) 介護サービス従事者の人材確保対策

高齢者人口の増加にともない、今後ますます拡大していく介護・福祉ニーズに対応していくためには、サービス提供の基盤である人材を安定的に確保することが最も重要な条件となります。

しかし、介護・福祉サービス分野を取り巻く労働環境は給与水準をはじめ、仕事の社会的評価や認知が不十分であるなど決して恵まれたものではないため、求職者は伸び悩み、離職者は増加の傾向となり、全国的にも介護サービス従事者の人材確保は大変厳しい状況になっています。

本市では、市内の介護事業所の人材不足の解消と在宅介護の充実を図ることを目的に、平成23年度から「訪問介護員養成研修受講者支援事業」を創設し、研修修了者が市内事業所に勤務することを条件として、研修の受講費用の一部を助成しています。今後も、この制度を継続することで管内事業所への就職を支援するとともに、介護従事者資格の取得課程を有する教育機関に働きかけ、介護分野への就職をめざす実習生の受け入れなどを通して新たな人材の獲得に努めます。

また、介護福祉士等の資格を有しながらも現在就労していない人材の把握、就職を促すための就職説明会や介護現場での雇用に向けた再研修の実施など、京都府や福祉人材・研修センター、管内福祉施設と連携し人材確保の取り組みを支援します。

6 地域支援事業の推進

(1) 地域支援事業の事業費規模

地域支援事業の各年度の事業費規模は、介護保険事業計画において定める各年度の保険給付見込み額に、下表に掲げる率を乗じた額の範囲内となります。

【地域支援事業の事業規模】

区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
地域支援事業	3.0%以内	3.0%以内	3.0%以内
介護予防事業	2.0%以内	2.0%以内	2.0%以内
包括的支援事業＋任意事業	2.0%以内	2.0%以内	2.0%以内

(2) 地域支援事業の概要

地域支援事業対象者に対して、介護予防事業など以下のサービスを提供していきます。

区分	事業
介護予防事業	
二次予防事業	○二次予防事業対象者把握事業 ○通所型介護予防事業 ○訪問型介護予防事業
一次予防事業	○介護予防普及啓発事業 ○地域介護予防活動支援事業
包括的支援事業	
介護予防マネジメント	○介護予防ケアマネジメント事業
総合相談・支援	○総合相談支援事業
虐待防止・権利擁護	○権利擁護事業
包括的・継続的マネジメント	○包括的・継続的マネジメント事業
市町村の判断により実施する事業	
要支援認定者に対して介護予防サービスを実施する事業	今後の事業展開を確認しながら、計画期間内に検討していきます。
要支援認定者・二次予防事業対象者に対する自立した日常生活の支援のための事業	
要支援認定者に対するケアマネジメントの事業	
任意事業	
介護給付等費用適正化	○介護費用適正化事業
家族介護支援	○介護用品支給事業 ○家族介護者交流事業 ○家族介護者教室
その他	○食の自立支援サービス事業 ○住宅改修支援事業 ○介護相談員派遣事業

※介護予防・日常生活支援総合事業は、**！**内のすべてを総合的に実施する事業

(3) 地域支援事業の内容

① 介護予防事業

1) 二次予防事業対象者把握事業

二次予防事業対象者の把握を目的に、65歳以上の人を対象に「介護予防のための基本チェックリスト」を市民健診申し込み時に実施します。

2) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、介護予防を目的とした事業（運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善など）を実施します。

3) 訪問型介護予防事業

二次予防事業対象者の中で心身の状況により通所型介護予防事業に参加が困難な人に対して、保健師等が訪問し、必要な相談・指導を実施します。

4) 介護予防普及啓発事業

健康相談の実施や介護予防パンフレットの配布などを通じて、介護予防の普及啓発を行います。

高齢者が元気で自立した生活を続けていくため、65歳以上の高齢者に対して気軽に運動できる場の提供や保健師・栄養士等による生活改善のアドバイスを実施します。

■実績

単位：回、人

項目	平成 21 年度			平成 22 年度		
	実施回数	参加人数	延参加人数	実施回数	参加人数	延参加人数
健康プール教室	22 (2クール)	41	310	22 (2クール)	52	408
結果報告会	68	65歳以上がん検診 75歳以上すこやか健診	246 426	66	65歳以上がん検診 75歳以上すこやか健診	265 425

【今後の方向】

高齢者の生きがいに結びつけるため、高齢者の実態把握に努めるとともに、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上と閉じこもり予防を推進します。

5) 地域介護予防活動支援事業

生きがい活動支援通所事業などを通じて、自主グループの立ち上げと活動の支援を行い、地域における自発的な活動の育成・支援を実施します。

○生きがい活動支援通所事業

要介護認定を受けていない、おおむね65歳以上の在宅の高齢者を対象に、閉じこもり予防・心身機能の維持向上を図るため、趣味や創作活動、レクリエーション等の生きがい活動を実施します。

■実績

単位:か所、回、人

項目	平成21年度			平成22年度		
	実施か所数	回数	延参加人数	実施か所数	回数	延参加人数
生きがい活動支援通所事業	19	425	2,959	19	425	2,622

【今後の方向】

高齢者の生きがいづくりに結びつけるため、高齢者の実態把握に努めるとともに、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上と閉じこもり予防を推進します。

○生活管理指導事業

社会適応が困難な在宅のひとり暮らし高齢者等を養護老人ホームにおいて一時的に宿泊させることにより、生活習慣の指導や体調の調整を図り、要介護状態への進行を防止します。

■実績

単位:人、日

項目	平成21年度		平成22年度	
	実利用人数	利用日数	実利用人数	利用日数
生活管理指導事業	0	0	0	0

【今後の方向】

受託施設と連絡を密にとりながら、在宅生活の継続に必要な支援を行います。

② 包括的支援事業

地域包括支援センターにおいて総合相談支援、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応、困難事例への対応・助言、地域包括ケア体制の構築等の業務などを実施します。

③ 市町村の判断により実施する事業

現在、地域支援事業の任意事業で見守りを含めた食の自立支援サービス事業や介護保険外での外出支援サービス事業、軽度生活援助事業等を実施しており、今後も関係機関と連携しながらサービスの向上に努めます。

したがって、市町村の判断により実施する事業については、今後の事業展開を確認しながら計画期間内に検討していきます。

④ 任意事業

1) 介護用品支給事業

在宅で要介護4及び5に認定されている高齢者を介護している家族に対して、紙おむつや尿とりパット等の購入費を一定の条件のもとに助成します。

■実績

単位:人

項目	平成21年度	平成22年度
	利用者数	利用者数
介護用品支給事業	19	15

【今後の方向】

介護の経済的負担の軽減を図り、要介護者の在宅生活の継続及び向上のため、引き続き支援します。

2) 家族介護者交流事業

在宅で寝たきりの高齢者等を常時介護している介護者を対象に、介護者の心身の元気回復を図るために講演会を開催するなど、介護者同士の交流を深めています。

■実績

単位:回、人

項目	平成21年度		平成22年度	
	実施回数	延べ参加人数	実施回数	延べ参加人数
家族介護者交流事業	7	118	7	204

【今後の方向】

介護者の心身の元気回復のため、交流会を実施するとともに、参加しやすい環境づくりに努めます。

3) 家族介護者教室

在宅で高齢者等を介護している人、介護に関心がある人等を対象に、介護に関する相談や介護の経験がある人を講師に招き講演会等を実施しています。

■実績

単位:か所、人

項目	平成 21 年度		平成 22 年度	
	実施か所	参加人数	実施か所	参加人数
家族介護者教室	16	295	2	165

【今後の方向】

地域における在宅介護者の介護にまつわるさまざまな不安の解消を図り、在宅における適切な介護の提供を支援します。

4) 食の自立支援サービス事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、または身体に障がいのある人で調理が困難な人を対象に食事を定期的に提供するとともに、配達時には利用者の安否確認を行います。

■実績

単位:食、人

項目	平成 21 年度		平成 22 年度	
	延提供食数	利用者数	延提供食数	利用者数
食の自立支援サービス事業	35,427	161	38,198	159

【今後の方向】

事業実施地域（旧町）間で提供方法等の違いがあるため、今後、全市で統一した提供方法に改善できるよう、関係機関と調整を行いサービスの向上に努めます。

5) 住宅改修支援事業

住宅改修に関する相談助言・情報提供・連絡調整等の実施、住宅改修費の支給申請にかかる書類の作成経費の助成を行います。

■実績

単位:件

項目	平成 21 年度	平成 22 年度
住宅改修支援事業	4	1

【今後の方向】

介護支援専門員等への支援を行い、要介護者の在宅での自立した生活と質の向上に努めます。

6) 介護相談員派遣事業

介護相談員養成研修を受講した相談員をサービス事業所に派遣し、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、事業者との意見交換を行うなどの活動を通じて、利用者とサービス提供事業者との橋渡しを行います。

■実績

単位:人、回

項目	平成 21 年度		平成 22 年度	
	相談員数	派遣回数	相談員数	派遣回数
介護相談員派遣事業	4	96	5	93

【今後の方向】

高齢者を取り巻く状況が複雑多岐にわたる中、市内介護保険施設等へ相談員を派遣することにより介護サービスの質的向上を図ります。